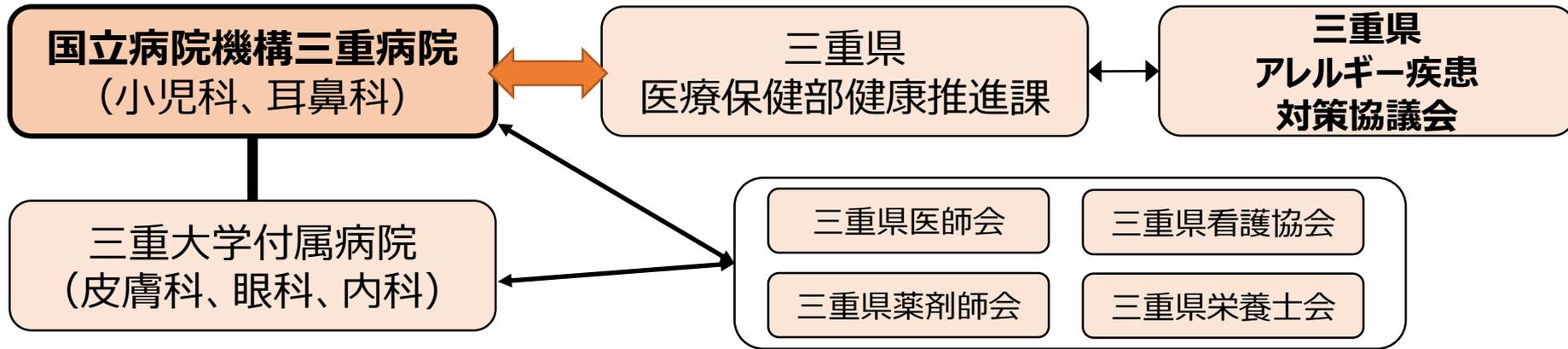


平成30年度・令和元年度 アレルギー疾患対策都道府県拠点病院 モデル事業報告

国立病院機構三重病院

拠点病院の実施体制

拠点病院



院長⇒

三重病院スタッフ
 アレルギー科（専門医）
 小児アレルギーエデュケーター（県内のネットワーク）
 教育研修担当看護師長
 事務部門（企画課、管理課）

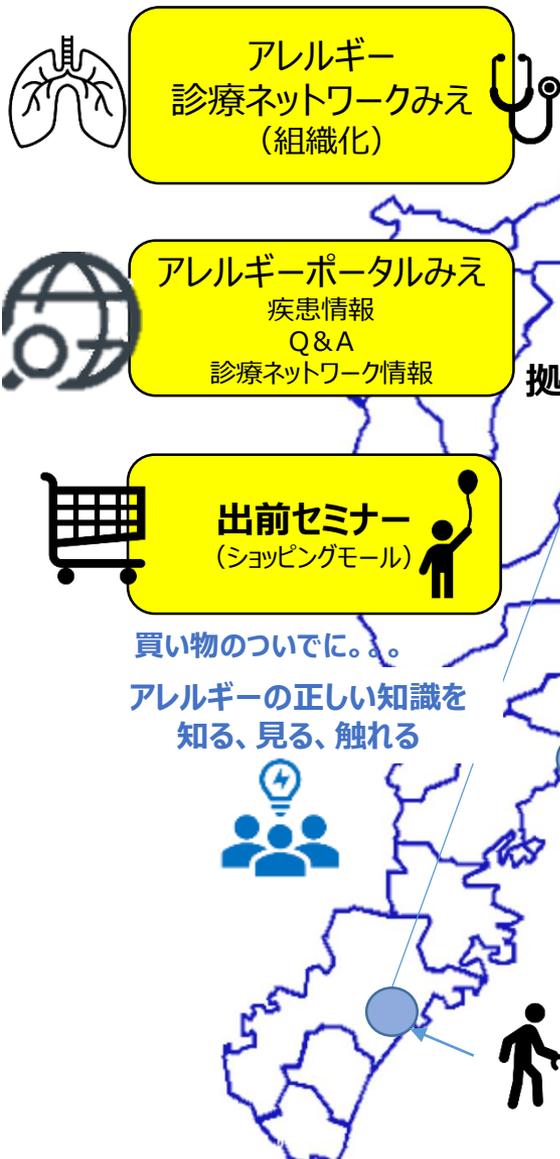
三重県の地域特性

- 南北に長く、医療機関は北部に偏在
- アレルギー専門医は少ない
（指導医+専門医数 = 52） ...全国で4172



三重県におけるモデル事業

1 情報提供



2 患者相談

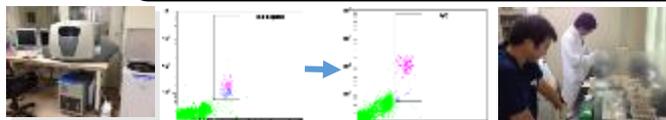
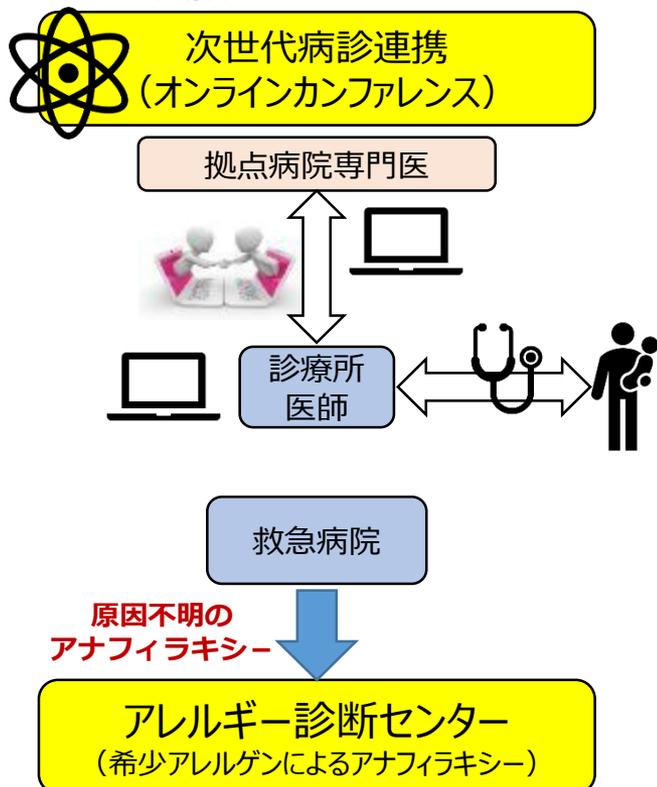


3 地域の医師等への研修会

医師向けe-learning
症例から考える紹介・逆紹介のポイント

三重県アレルギー療養指導
スタッフ養成コース(コ・メディカル)

4 診断支援



(1)アレルギー疾患に対する情報提供

アレルギーポータルみえ

お問い合わせ

三重県からのお知らせ

アレルギー診療ネットワークみえ

三重県ハザードマップ

アレルギー基本情報

アレルギー相談センター

三重県の
アレルギー診療情報を
発信します。



<https://mie-allergy.jp/>

「アレルギー診療ネットワークみえ」登録システム

- 「アレルギーポータルみえ」に、三重県でアレルギー診療を行う医師／医療機関を登録、主訴別にわかりやすくアレルギー診療情報を発信するホームページ表示する。
- 登録医師の要件
 - 診療ガイドラインに準拠したアレルギー診療をされること
 - 登録後は自動更新、2年毎に継続の意思確認
- 拠点病院との病診連携
 - 通常の紹介・逆紹介
 - 次世代病診連携：オンライン診療システムの応用



どんな症状でお困りですか？

(3) 地域の医師等に対するアレルギー研修会

ポータルみえ

食物アレルギー① アレルギー疾患管理指導表の 記入について

国立病院機構三重病院 アレルギーセンター
長尾みづほ



タルみえ

アレルギー性結膜疾患

三重大学眼科
加藤久美子

アレルギーポータルみえ

「症例から考える紹介・逆紹介の」 アレルギー性鼻炎：小

国立病院機構三重病院耳鼻咽喉科
増田佐和子

診療レベル
担保のため

e-learning ツールの 作成

出前セミナー

イオンモール東員
R1.12.1 172名の参加



イオンモール鈴鹿
R2.2.2 272名の参加

イオンモール津南
R1.2.2 450名の参加



三重県アレルギー相談センター

- アレルギー疾患の生活指導を受けることができない患者のために
- 不安を抱えている患者のために
- 週2日 月曜日・木曜日（祝日を除く）13:00～16:00
- 相談員として看護師1名が電話対応
- 相談室長：アレルギー科医長、センター長：病院長



実績：2019年4月1日～2020年3月31日

相談件数：458件

内訳：

食物アレルギーに関すること257件（56.1%）

喘息に関すること73件（15.9%）

アトピー性皮膚炎に関すること28件（6.1%）

その他 100件(21.8%)

...蕁麻疹13件、アレルギー性鼻炎13件

薬物アレルギー4件、蜂アレルギー3件、

金属アレルギー3件

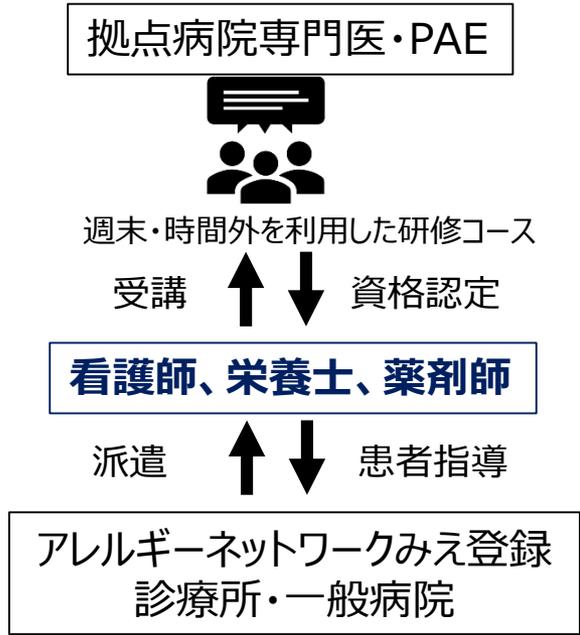
ワクチン副反応3件、その他 7件

居住地の近くにアレルギー専門医が不在である方からの相談が多かった。

三重県アレルギー療養指導スタッフ養成コース



- 受講対象
 - 看護師、薬剤師、栄養士で、2年以上の実務経験
 - 診療所、調剤薬局などに勤務、アレルギー疾患療養指導に関わる
- 定員：30名（実際には35名）
- 知識から実践まで4日間のプログラム
- 三重県との共催
 - 三重県保健医療部長より修了証発行
- 三重県医師会後援



注) PAEとは学会認定の小児アレルギーエドゥケーター
三重県認定の療養指導士は小児だけでなく成人の指導も行えるよう養成する

令和元年度 三重県アレルギー療養指導スタッフ養成研修 プログラム

知識習得コース	1回目 (12/8)	1項目 10:00-10:15	三重県のアレルギー疾患患者の動向や特徴 三重県アレルギー療法指導スタッフ養成の経緯
		2項目 10:15-11:15	アレルギーの基礎知識
		3項目 11:25-12:25	気管支喘息（成人期）
		4項目 12:25-12:55	気管支喘息（小児期）
		5項目 14:00-15:00	アトピー性皮膚炎（成人期）
		15:00-15:30	アトピー性皮膚炎（小児期）
	2回目 (1/26)	6項目目 15:30-16:30	アレルギー性鼻炎（小児期～成人期）
		7項目 10:00-11:00	食物アレルギー
		11:00-11:30	保育園・幼稚園、学校、行政との連携
		8項目目 11:30-12:15	アレルギー性結膜炎
		9項目 13:15-14:45	呼吸機能検査の種類・目的・結果の見方、検査の実際
		14:45-16:00	吸入指導方法
		3回目 (3/1)	10項目 10:00-11:30
11項目 11:30-13:00	食物経口負荷試験・免疫療法		
12項目 14:00-15:30	エピペンの指導方法 ショック時の基本的な対応		
13項目 15:30-17:00	小児アレルギー疾患患者・家族の疑問と悩み、成人アレルギー疾患患者のよくある相談と対応症例実績報告書の記入方法		
実践編	現場での実践		実践（症例実績報告書） 当院で実習または診療所
	4回目 (5/17)	14項目 15:00-16:00	現場での療養指導の 実際のふりかえり
	現場での実践		実践（症例実績報告書） 当院で実習または診療所
症例実績報告書 提出後 修了証送付			

コロナ禍のため
リモートに変更

リモート (3/1)

10:00-11:00	スキンケア指導方法
11:15-12:45	食物経口負荷試験 ・免疫療法
13:45-14:45	エピペンの指導方法、ショック時の基本的な 対応
15:00-15:30	症例実績報告書の記載方法

リモート (5/17)

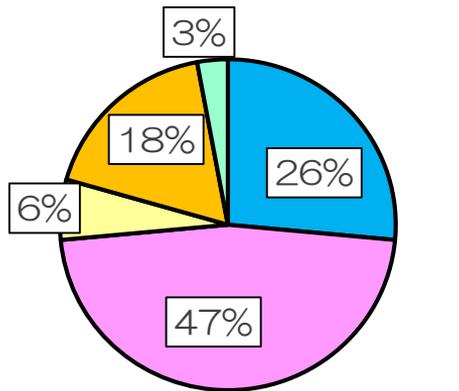
13:00-14:00	スキンケア（実演）
14:10-15:10	小児アレルギー疾患患者・家族の疑問と悩み、 成人アレルギー疾患患者のよくある相談と対応
15:30-16:00	今後の説明

令和元年度 三重県アレルギー療養指導スタッフ養成研修

三重県庁を通じて、三重県医師会、薬剤師会、栄養士会へ案内する方法で周知を行った。

参加登録 35名、全コース修了者 34名

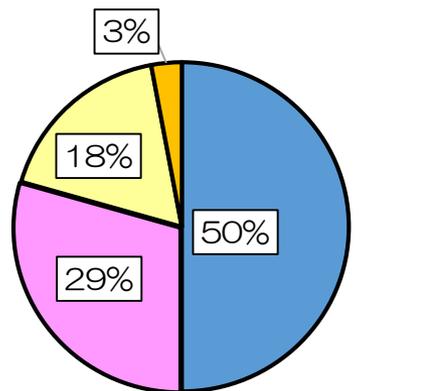
参加者の居住地域



■北部 ■中部 ■伊賀 ■伊勢志摩 ■紀勢・東紀

近隣の県中部だけでなく、北部、遠方の南部からの参加もあった。

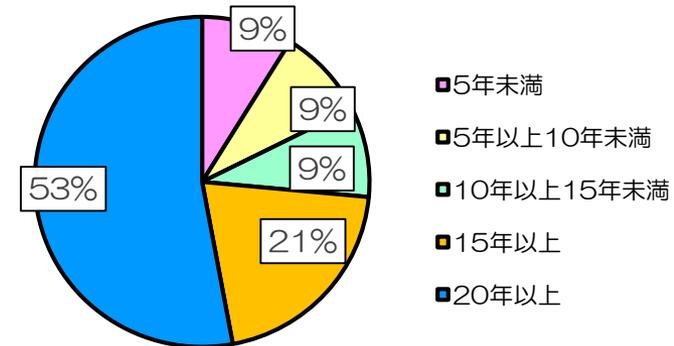
参加者の職種



■薬剤師 ■正看護師 ■准看護師 ■管理栄養士

薬剤師と看護師がほぼ半数ずつであった。

参加者の経験年数



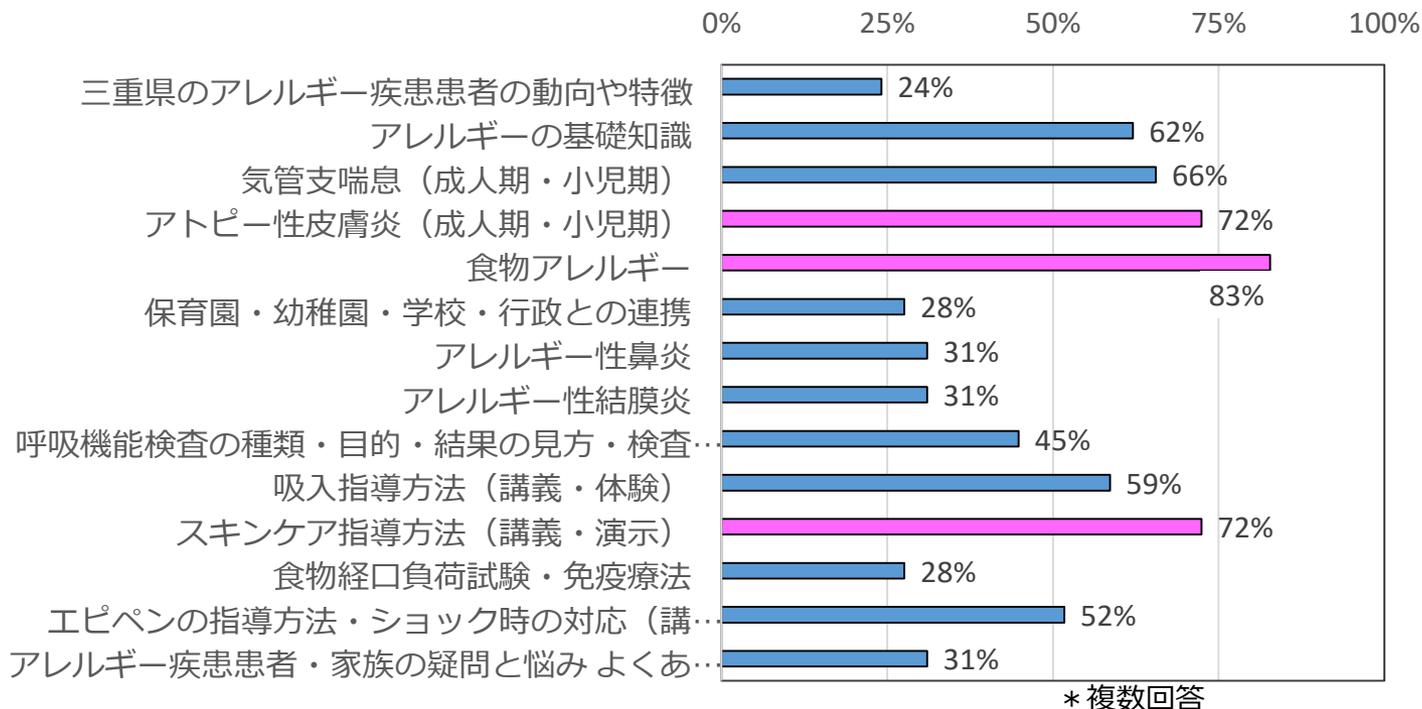
■5年未満
■5年以上10年未満
■10年以上15年未満
■15年以上
■20年以上

20年以上のベテランが半数以上を占めていた。



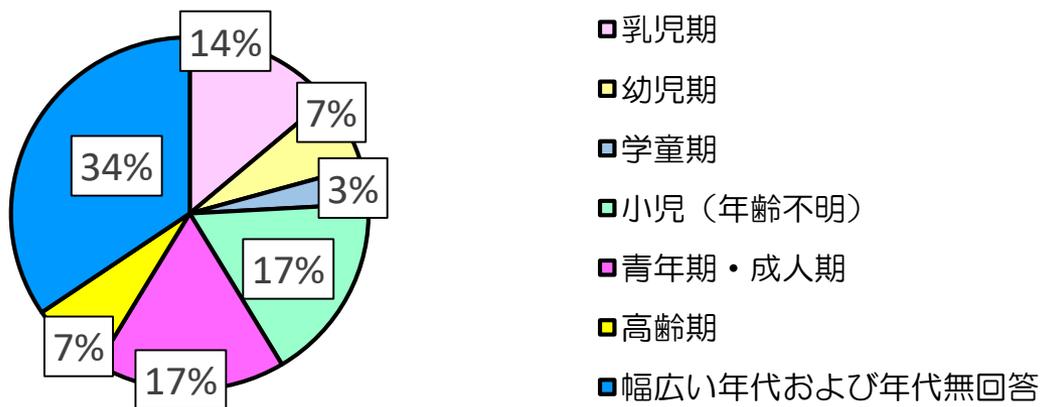
たいへん熱心な受講態度で、現場の実例に基づく質問がでた。

現場で活用できた研修内容



活用できた内容
食物アレルギー
アトピー性皮膚炎
スキンケア
 が多かった

研修内容を活かして現場で実践できた対象の年齢層



幅広い年代に
 活用がされた

令和2年度より、三重県の事業として継続

実施方法

- ①回数 3回（すべてリモートによる開催）
- ②内容 カリキュラムは別紙参照
- ③定員 30名
- ④修了基準 全てのカリキュラムを受講し、症例報告を提出し者に修了証を発行する。

令和2年度 三重県アレルギー療養指導スタッフ養成研修

令和2年11月22日（日）

第1回	時間		内容	講師	
	9:00	-	9:10	挨拶	三重県医師会理事
9:10	-	9:25	挨拶 三重県のアレルギー疾患患者の動向や特徴 三重県アレルギー療法指導スタッフ養成の経緯	三重県 医療保健部 健康推進課 課長 主事	芝田 登美子 新井 寛太
9:30	-	10:30	アレルギーの基礎知識	三重病院 アレルギー科	濱田 佳奈 氏
10:30	-	10:40	休憩		
10:40	-	11:40	アレルギー性鼻炎 (小児期～成人期)	三重病院 耳鼻咽喉科 医長	増田 佐和子 氏
11:45	-	12:30	アレルギー性結膜炎	三重大学医学部附属病院 眼科	米川 由賀 氏
12:30	-	13:30	昼食		
13:30	-	14:30	気管支喘息（成人期）	三重大学医学部附属病院 呼吸器内科 科長	小林 哲 氏
14:35	-	15:05	気管支喘息（小児期）	三重病院 アレルギー科	野上 和剛 氏
15:05		15:15	休憩		
15:15	-	16:15	吸入指導方法	すずらん薬局 管理薬剤師 小児アレルギーエドクター 三重病院 小児アレルギーエドクター	上荷 裕広 氏 植松 良太 氏
事前課題			呼吸機能検査の種類・目的・結果の見方、検査の実際	三重病院 アレルギー科	アレルギーポータルみえ

アレルギー診療に関する県内実態調査:三重県との連携

今回の実態調査を実施する目的

- 県拠点病院は中勢地区のみであり、専門的診療が必要な患者には、適切なタイミングでの病診連携による検査・治療が必要となるが、その実態が明らかになっていない。
- アレルギーの発症は乳幼児期が多く、養育者の育児不安の原因となる場合が多い。
- そこで、本実態調査では、県政モニター制度と母子保健事業を活用し、県内におけるアレルギー診療に関する実態と患者及び養育者の有するアンメットメディカルニーズを把握することを目的とする。

☆県政モニターでの調査

県政を評価することを目的に、平時より募集されているモニターを対象とした、ウェブ上でのアンケート調査を行うことが可能。

現在、県の事業としてアレルギー疾患に関する診療体制や情報発信が始まった時期であり、その現状を評価により、施策の方向性や評価に活用するためのイニシャルデータを取ることができる。



令和2年5－6月に実施

☆1歳半及び3歳での集団検診での調査

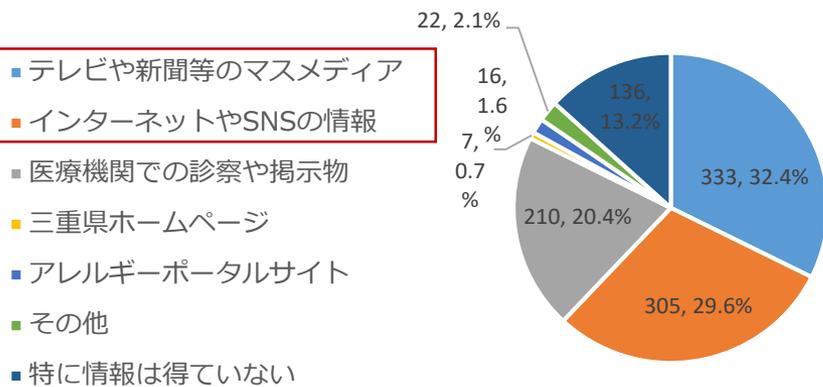
1歳半検診：育児の中で離乳食等もある程度開始され、乳児湿疹や食物アレルギー等についても経験が進む時期。生後直後から離乳食初期頃までの養育者の不安や対応等を振り返ることが可能

3歳検診：保育園や幼稚園への入園等を迎えるにあたり、疾患状況、診療状況、園等との連携状況などを評価することが可能



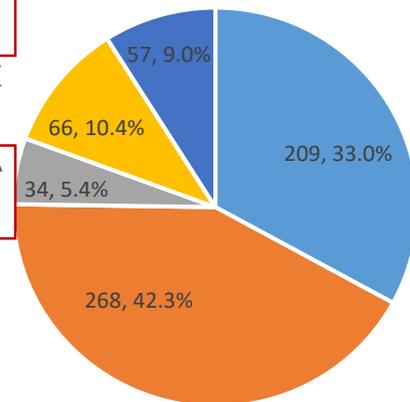
令和2年9－10月に実施

Q6 アレルギー情報はどこから？



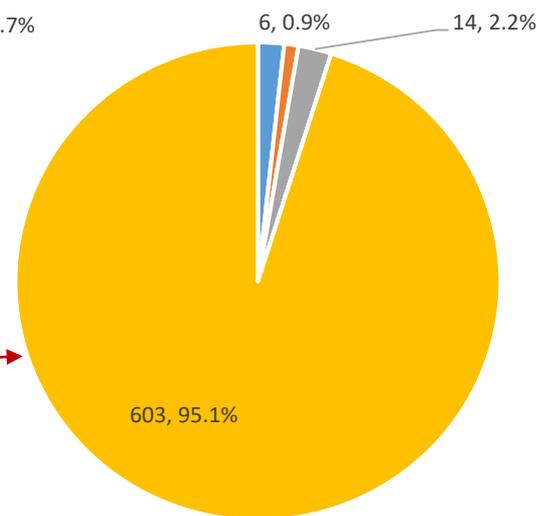
Q7 アレルギー情報をどう思うか？

- 必要な情報がおおむね得られ、内容も正確だと思う
- 必要な情報はおおむね得られるが、内容は正確かどうかわからない
- 必要な情報はあまり得られないが、内容は正確だと思う
- 必要な情報はあまり得られず、内容も正確かどうかわからない
- その他



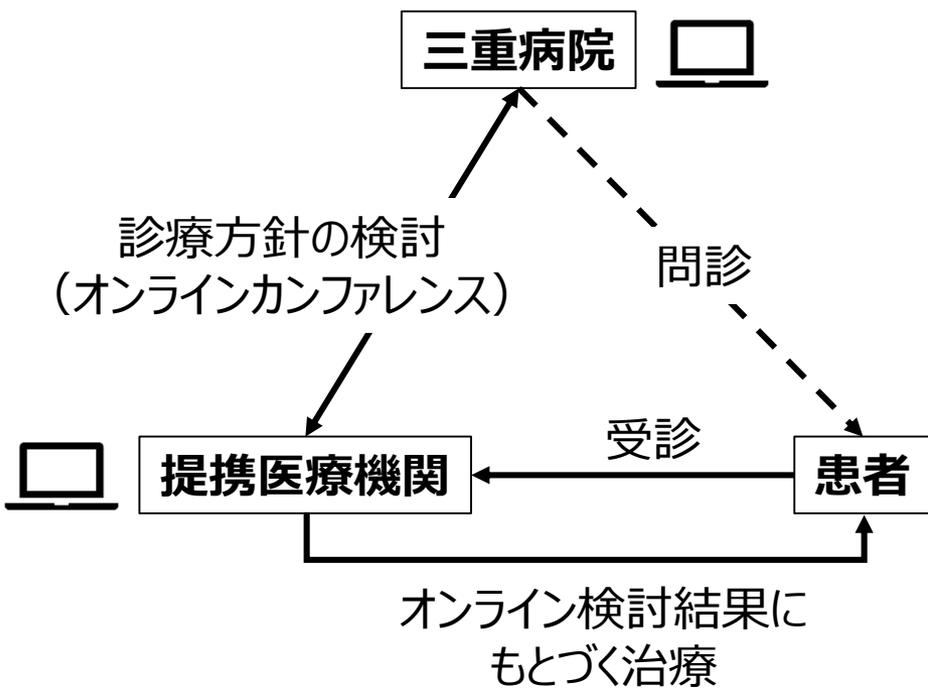
Q8 アレルギーポータルについて

- 国の事業で作られている「アレルギーポータルサイト」を知っている
- 三重県の医療機関情報などを掲載している「アレルギーポータルみえ」を知っている
- どちらも知っている
- どちらも知らない



アレルギー疾患「次世代病診連携」みえ

- CLINICS®の利用*



独立行政法人国立病院機構 三重病院
 三重県津市大早産田町357

国立病院機構三重病院は、最近急増している子どもと大人のアレルギー疾患の専門的治療と研究を行っています。今、回は各都道府県にアレルギー疾患医療拠点病院を整備していますが、当院は三重県の拠点病院として、県内の医療機関とネットワークを組み、アレルギー疾患でお困りの患者様に適切な医療をお届けできるよう努力しています。その中で、新しい診療スタイルとして、「オンラインによる次世代病診連携システム」を導入しました。提携医療機関に受診された患者様とオンラインで相談にのらせていただき、主治医の先生とともに治療方針を決定するものです。「アレルギーポータルみえ」にある提携医療機関を通して、ご予約ください。

アレルギー科

* <https://clinics.medley.life/>

アレルギー診断センター

NHOネットワーク

原因不明
稀少アレルギーによる
アナフィラキシー

各施設での
検査

詳細な問診
既存検査

中央検査

好塩基球活性化試験
アレルギーアレイ検査（112種）
バイオマーカー

診断委員会

アレルギー診断に精通した
専門医

確定診断

稼動開始!!

レジストリー

解析

アレルギー診断パネル

将来の治療開発
予防・適切な管理
診断体制の整備

国立病院機構共同臨床研究事業 免疫・アレルギー領域
「稀少アレルギーによるアナフィラキシーの実態解明と診断法確立に関する研究」
研究代表者：星みゆき
(国立病院機構三重病院)

まとめ：三重県における拠点病院モデル事業

・情報提供

・アレルギーポータルみえ

- ・地域に特化した情報を提供、一般的情報は中央のアレルギーポータルへ

・アレルギー診療ネットワークみえ

- ・どの医療機関を受診すればよいか？を「みえる化」
- ・医療機関のレベル担保＝登録要件はガイドライン準拠、e-learning受講

・「出前」セミナー at ショッピングモール

- ・買い物をついでに、正しい知識を！

・患者相談

- ・三重県アレルギー相談センター（電話相談）

・医療従事者への研修

- ・コ・メディカル向け「三重県アレルギー療養指導スタッフ養成研修」
- ・医師向けのe-learning

・診断支援

- ・次世代診療連携みえ：オンライン診療システムを利用したD to D+P
- ・アレルギー診断センター：原因不明のアナフィラキシーの診断
(国立病院機構研究費)

・今後の展開：行政との連携

- ・三重県アレルギー療養指導スタッフ養成研修は、**県の事業**として継続
- ・三重県と共同で**県民のアレルギー実態調査**開始→予算確保の根拠に